

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2014
平成26年

12.15

優美な装いに
和むひととき!



目次

「しみんの広場」

滝頭山トレッキング	2
伊良湖岬観光協議会	
今月の花「レイコのコレイいね」	
地域の話題	
市民活動を応援するページ	
スクールレポート	6
学校生活の一コマを紹介	
たはらシティニュース	7
連載コーナー	8
おしらせ	10
歴史探訪クラブ	12



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 広報サポーターだより……………2ページ
- 伊良湖岬観光協議会・レイノコレイイね……………3ページ
- 地域の話題(田原中部校区)……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ

広報サポーターだより

滝頭山トレッキング

田原市は、三河湾国定公園、渥美半島県立公園に指定され、海と山に囲まれた美しい自然環境に恵まれています。

今回は、小さなお子さんから年配の方まで楽しめる滝頭山をご紹介します。



広報サポーター 浪崎季代美

◆服装

トレッキングに適した服装で出かけましょう。

- 靴 傾斜が急で、岩場がある滝頭へは滑りにくいトレッキングシューズで。
- 手袋 岩や木を掴むことが多いので手袋があると便利です。

●鞆 両手が空くりュックに、飲み物やタオル、簡単に食べられる物などを用意しましょう。

自分に合ったサイズの服で



◆滝頭不動



滝頭公園の下池、上池を通り、奥へ進んで行くと看板があり、入り口があります。

◆懺悔岩



しばらく登っていると懺悔岩があります。とても見晴らしが良いです！懺悔岩から少し先に行くくと、春にミツバツツジが群生する回廊に出ます。ここから衣笠山と蔵王

◆一般コースと岩登りコース

山を眺めると、ツツジのピンクと山の緑がとても綺麗ですよ。

さらに登っていくと分岐点があります。一般コースと岩登りコースです。自信のある方は岩登り



コースを楽しんでみるのはいかがでしょうか？

◆恐竜の背

岩登りコースから登ると、あつ

という間に恐竜の背にたどり着きます。

田原を一望できる景色が目の前に広がります。

一般コースはぐるっとまわりこんで恐

◆山頂

竜の背にたどり着きます。景色をゆっくり楽しんでください。

山頂まではまっすぐな一本道。自然が残っているながら整備されています。両側から木々が包み込むようにトンネルになっており、所々から差し込む光が反射してとても綺麗です。

滝頭山は1時間程度で往復できる初心者向きの山ですが、季節ごとに変化する景色が魅力的。何回も登りたくなる見応えのある山です。皆さんもぜひ、トレッキングに出かけてみてください。

たはらアルプストレッキングガイド

渥美半島観光ビューロー・田原区が発行しているガイドブックで、田原アルプスのハイキングコースが所要時間と共に掲載されています。ご自分に合ったコースを選ぶことができますよ。





岬プロジェクト

恋人の聖地「恋路ヶ浜」でかける鍵

投稿 伊良湖岬観光協議会

◆しあわせの鍵、販売開始!

伊良湖地区の活性化を目的に活動している伊良湖岬観光協議会では、恋人の聖地「恋路ヶ浜」で現在かけられている「願いのかなう鍵」のほかに、新たに「しあわせの鍵」を企画・作成し販売を開始しました。「しあわせの鍵」は、四つ葉の模様と幸せの鍵のモニュメントをデザインした木製のプレートと鍵がセットになっています。10月29日(水)から販売を開始し、第1号には地元トマト農家の粕谷夫妻が幸せを願って鍵をかけました。

また、同日、過去にかけられた「願いのかなう鍵」を溶かして皆さんの思いをこめたハート型のプレートとモニュメントを市が設置しました。

◆恋人の聖地「恋路ヶ浜」で結婚式

11月1日(土)、恋路ヶ浜で田原市を舞台にしたテレビのお見合い番組で



知り合った東京都出身の柴田峻平さんと大阪府出身の志寿香さんが結婚式を挙げました。

これは、恋人の聖地である恋路ヶ浜と伊良湖岬灯台を活用して、伊良湖地区を盛り上げようと、伊良湖岬観光協議会が企画提案し実現したものです。

当日は、あいにくの雨でしたが、家族や友人、地域の人など多くの人が参加し、お二人を祝福しました。

また、伊良湖港緑地で実施予定だった披露宴を急ぎよ、渥美魚市場で行い、田原産のバラを使ったフラワーシャワーなどで二人の門出を祝福しました。

伊良湖岬観光協議会では、今後も、結婚式など伊良湖地区を盛り上げる企画を行っていきます。ご希望の方は、ぜひ、お問い合わせください。



伊良湖岬観光協議会(高橋) 090-2948-7876

今月の花

レイコの花

農政課 ☎23局3517

◎田原市から始まるクリスマス



クリスマスを彩る花として思い浮かぶポインセチアとシクラメンは田原市で多く栽培されており全国でも有数の産地です。赤と緑鮮やかな色がきれいなポインセチアですが、白やピンクのものや、バラのような形をしているものなどさまざまな品種が生産されています。シクラメンは白や赤、紫など色も豊富で、フリンジ咲きや八重咲きのものもあり、お好みの花が楽しめます。

これらの花はクリスマスの需要に向けて11月~12月上旬にピークを迎え、全国に出荷されます。田原市で栽培された花が全国のクリスマスを盛り上げています。みなさんのご家庭でも田原市で栽培されたポインセチアとシクラメンを飾って素敵なクリスマスを迎えてみませんか。



12月の 渥美半島の花と鉢花



ストック

(花/出荷時期:11月~4月)

花ことば

永遠の美しさ

花持ちが良く、県内1位の生産量、約70万本出荷されています。



シクラメン

(鉢花/出荷時期:9月~2月)

花ことば

内気、はにかみ

冬を彩る花で、県内2位の生産量、約40万鉢出荷されています。



▲唄をうたう木遣保存会



▲演奏を行う雅楽保存会

地域の話題

田原中部校区

いにしへの文化 薫るまち

古くから田原市の歴史・文化・経済の中心地として栄えてきた田原中部校区コミュニティ協議会から、文化・伝統の継承を担う団体について、お便りが届きました。

地域発!

巴江木遣保存会

木遣りとは、木をやり渡す（運ぶ）という意味で、重い木や石を大勢で運ぶ際、息を合わせるためにうたったもので、現在は棟上げや祝儀、または祭礼などの練り唄に転用されています。

巴江町内会の有志が中心となり、1997年に同好会が発足。現在は会員数60名で、4歳から75歳までの幅広い年齢層の皆さんが、巴江会館で定期的に練習を重ねています。

巴江木遣保存会の活動は、主に祭礼で、5月に巴江神社高德祭、10月に市民館まつり、2月に巴江神社節分祭、また個人の建前などで披露しています。

巴江木遣保存会では「木遣りの文

化の保存・伝承」を念頭におきつつ、会員相互の親睦も大切に、楽しみながら活動をしています。

雅楽保存会

雅楽とは、アジア大陸の音楽が5世紀から8世紀にかけて伝来し、日本古来の音楽と融合したものです。明治に入ると、雅楽は一般庶民も親しめる音楽となりました。

巴江神社では、江戸時代、田原藩三宅家の伝統を引き継ぐ雅楽保存会があります。現在、会員（伶人）12名で活動しており、毎週月曜日午後7時30分から、巴江神社社務所にて練習を行っています。

活動の場としては、巴江神社の例大祭、高德祭、熊野祭、歳旦祭、節



分祭、慰霊祭など、神事の祭の奏楽、個人の結婚式などで披露しています。

演奏している楽器は、箏・篳篥・龍笛・笙の三管に、打ち物の鞆鼓・太鼓・箏（琴）です。普段はなかなか見たり聞いたりすることのない楽器による優雅な調べを、生で聴いてみるのはいかがですか。興味のある方はぜひ、一度足を運んでみてください。

雅楽保存会では、会員を幅広く募集しています。

▼田原中部市民館 ☎23局0030

伝統文化の継承

田原中部校区は歴史・文化・伝統を発信するまちとして、多くの方々が使命感と誇りをもち、伝統文化の継承を大切に考えています。伝統を守りながらも新しく発展していくことを目指しています。



市民活動を応援するページ



市民活動紹介

子育て劇団ワラベウタ

地域も育つ!自分たちの子育て支援

育ち合う社会を意識した、コミュニティづくりを目的とする任意団体として今年5月に設立しました。

託児、出張保育、読み聞かせなどの子育て支援、親子向けライブやワークショップの開催、子育てに関するさまざまな情報を配信する番組「おちゃっと」の制作、団体の畑から採れた無農薬野菜を使ったお弁当やおやつ作りなどを行っています。

また、毎月24、25日には「サンタマーケット」を開催し、使わなくなった用品を日常的に地域の方からご提供いただき、サンタマーケット両日に希望者へ無料でお渡ししています。

主人公の数だけ物語があるならば、地域に住む私たちは「アナタ物語」の劇団員です。子育て支援の窓から見える世界を元気にしたい。「子育て劇団ワラベウタ」は、参加者が主役の任意団体です。個人、家族、企業、団体など、いつでも誰でも参加できます。未来を意識した、育ち合う日常生活を送るための支援活動をしてみませんか。

お問い合わせ

代表：星野 圭子 ☎ 0531-23-4334 ✉ kosodategekidan@gmail.com

HP <http://kosodategekidan.jimdo.com/>

▲劇団員養成講座の様子

イベント紹介

第6回女性会議ウィットWIT講座

ワークショップを通して「たまり場」づくり

●平成26年度市民協働まちづくり事業補助金採択事業

「どう生きる?わくわく充実人生」友がいて、「協奏」すれば大丈夫

ちょっと手を休めて考えてみませんか。これからの生き方。まわりの人との関係。地域の将来のこと。一人ひとりの「思い」を寄せて語り合えば、わくわくすることがきっとあります。思わぬ情報も、明日を明るくするチャンスも。それが揃うところが「たまり場」なのです。

今回は「協奏」をキーワードに、事例発表と「たまり場」づくりのワークショップを行います。あなたの人生充実のヒントを見出しましょう。



日時：H27/1/17 14:00～16:00

場所：田原市福祉センター3階 大会議室

定員：30名（先着順）

参加料：300円（資料代）

託児：子ども1人300円（12/26金までにお申し込みください。）

申し込み：H27/1/10 までに電話またはメールにて

※メールの場合は、氏名、連絡先[電話番号・メールアドレスなど]を明記

▶申し込み・お問い合わせ 女性会議ウィットWIT ☎ 090-3564-7737 (加子) ✉ info@fpkako.com

田原市民活動支援センター

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

☎ 22局 1111 (内線 812) ※開設時間のみ

FAX 23局 0180 ✉ shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp

メールマガジン配信中です!

センターから市民活動に関する新鮮な情報を随時、お届けします。配信ご希望の方は、メール本文に「メール配信希望」とご記入の上、左記センターアドレスへメール送信ください。



スクールレポート

SCHOOL REPORT 75

学校生活の
一コマを紹介

今回は、友好都市アメリカ・インディアナ州ギブソン郡およびプリンストン市を訪れた中学生海外派遣団の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

中学生海外派遣(アメリカ インディアナ州ギブソン郡・プリンストン市)

日本ではできない体験の連続、そして温かい交流

9月25日(木)から10月2日(木)までの8日間、田原市内の中学3年生10名と教職員3名が、田原市の友好都市であるアメリカ合衆国インディアナ州ギブソン郡およびプリンストン市を訪問しました。

初日、プリンストン市役所で行われたホストファミリーとの初顔合わせ。生徒たちは、緊張しながら自分の思いを伝えました。すると、ホストファミリーは笑顔で声をかけてくれるなど、温かく派遣団を迎えてくれました。

ホスト生徒といっしょに行った学校は、施設のすべてが広く大きくて、圧倒されていました。生徒たちは学校内を見て回ったり、授業に参加したりしました。日本にはない、「映像」や「ミュージカル」「農業」などの授業があり、楽しそうに参加していました。インタビューを受ける生徒もいました。休み時間に、折り紙で鶴を作ったところ、人が集まって来て、驚いて見ていました。

ホームステイ先では、広大な農園に行ったり、カーレースに連れていってもらったり、さまざまな体験をしました。馬に乗って、山に出かけた生徒もいました。

2日目の夜には、ホストファミリーや先生とともに、“cook-out”^{クックアウト}(野外料理パーティー)をしました。その後は、学校のアメリカンフットボールチームの試合を観戦。応援で、チームリーディングのパフォーマンスにも参加しました。日本では体験できないことばかりでした。

別れの日、ホストファミリーからももらったお土産と忘れられない思い出を胸に、別れを惜しみながらバスに乗りました。最終日は、ジョージア州アトランタ市に移動し、市内を観光。キング牧師記念地区、大手飲料メーカーの本社などを見学しました。



▲授業でインタビューを受けている様子



▲折り紙を折ると、生徒が集まりました



▲“cook-out”での記念撮影



▲キング牧師記念地区を見学しました

生徒たちは、ホームステイ先や学校での体験を通して、異国の文化と人の温かさに触れ、大きな感動を得ることができました。この体験で学んだことや感じたことを学校で広め、田原市の生徒がより国際理解・国際交流に興味を持つことを期待しています。



11月23日祝

時代を超えて
愛される磯丸

糟谷磯丸翁生誕250年記念式典が開催

されました。主催は記念事業実行委員会、良湖地区の住民を中心に結成されています。式典では、磯丸の遺徳を後世につなげようと、伊良湖小学校児童による磯丸学習の映像上映や、短歌コンテストの表彰などが行われました。



▲短歌コンテストの各部門で入賞した皆さん
※糟谷磯丸については、広報たはら10月1日号の特集をご覧ください。

11月14日金

農山漁村振興で
東海農政局長賞！

豊かなむらづくり全国表彰で東海農政局

長賞を受賞した谷ノ口総合整備促進協議会の皆さんが市長を敬訪問し、受賞を報告しました。これは、農産物の直売所「ええZONEマーケット」の運営や「ほうべの森」公園整備などの地域づくりが高く評価されたものです。



▲「ここに住んでみたいと思える地域づくりをしたい」と意気込みを語った福井哲己会長(左から4人目)と関係者

頑張れ！ 田原っ子

全国大会などに出場した皆さんをご紹介します。今後のさらなる活躍に期待します！



第45回ジュニアオリンピック陸上競技大会

(神奈川県横浜市[10/31~11/2])

【写真左から】前橋竣耶くん(田原中3年)、彦坂泰地くん(東部中1年)



第5回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト全国大会

(東京都目黒区[11/29])

【写真左から】前澤美里さん(田原中部小4年)、江川千春さん(同小6年)、前澤美波さん(同小6年)

広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想

103

12月は地球温暖化防止月間と大気汚染防止推進月間です

冬は、一年で最も空気が汚れやすい季節です。

また、地球温暖化をもたらす二酸化炭素濃度は年々増え続けています。小さな心がけで、地球温暖化・大気汚染を防止しましょう。

◇ロくろくからできる取り組み

- 重ね着などの工夫で暖房は20℃を目安にしましょう。
- 照明や電化製品はこまめにスイッチを消しましょう。
- こたつなどの設定温度はこまめに調節しましょう。
- 無用なアイドリングや、急発進、急加速を避け、エコドライブに努めましょう。
- 公共交通機関や自転車を利用しましょう。

◇エコ・クッキング講座

10月4日、東三河の季節の食材を使用したエコ・クッキング講座を開催しました。

当日は、25名が参加し、秋冬野菜と玄米のみそ麹ドリアやブロッコリー

の茎のポタージュなどを料理しました。

参加者からは、食材を無駄なく使用する調理法を学ぶことができてよかったと好評でした。

◇エコエネルギーツアー2014

10月19日、蔵王山展望台や臨海エリアを見学するツアーを開催しました。参加者は蔵王山展望台で、たはらエコ・ガーデンシティ構想について学び、風車やメガソーラーが立ち並ぶ臨海エリアの景色を楽しみました。今後もこのような環境イベントを開催しますので、ぜひご参加ください。



● たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人2665人・事業所100カ所(11月末現在)

▼環境政策課

☎23局7401 FAX23局0180

http://www.city.tahara.aichi.jp/

環境戦隊たはらエコレンジャー

28



ゴミゴミとリサイクルレンジャー

ごみステーションに出されるペットボトル・プラスチック容器類・白色トレイの中に、出し方が間違っているものが多く入っています。今回は、間違えやすいごみを紹介します。

◇ペットボトル

キャップを外して水洗いし、つぶして出してください。

※キャップは「プラスチック容器類」へ

◇プラスチック容器類

● 間違っ入っているもの

● CD本体、ケース

● どちらも「もやせるごみ」です。

● 紙製のカップ麺の容器

● 容器に紙

● マークが書か

● れているもの

● は「もやせる

● ごみ」です。



● 海苔の容器

容器の底に乾燥剤が入っているの、外してから

「プラスチック容器類」に出して

ください。

※乾燥剤は

「もやせるご

み」へ

◇白色トレイ

● 間違っ入っているもの

● 納豆の容器

● 容器の上のりが付いているため、

「プラスチック容器類」です。

● 発泡スチロール

● 「もやせないごみ」です。

出し方が間違っていると、収集したあとと選別する必要があるため、リサイクルの妨げとなるおそれがあります。ごみの分け方・出し方パンフレットで確認するなどして、正しく分別しましょう。

▼清掃管理課

☎23局3538 FAX23局0180

http://www.city.tahara.aichi.jp/



◎「四季をあらわす身近な景観」

寒い日が続いていますね。今年ももうあとわずかとなりました。今回は、四季を感じさせる身近な田原市の景観について、ご紹介します。

12月といえば、クリスマスですね。先月の初め、田原市の中心部で巨大ツリーとLED照明の電飾照明が点灯しました。



この季節ならではの景観は、幻想的な空間を演出しています。最近では、中心部の冬の風物詩になっていますね。

今年は、駅前の道が開通し、はなとき通りから駅前までのイルミネーションが繋がったため、いつもと違った雰囲気を見ることができます。

このイルミネーション、もともと中心市街地の賑わいを創出する目的で行われている事業で、地元商店主らにより組織された、まちなか賑わいづくり実行委員会や田原旭町通り商店街協同組合などが企画・運営を行っています。地域の皆さんが協力しあって、今の景観が作られているんですね。

今ある景観を保全することも大切ですが、今の雰囲気にあった新しい景観をつくることも大切です。

組織をつくって新しい景観をつくるにはたくさんの人の協力や費用を必要とします。一人ひとりが身の回りを意識し、少しでも協力することが、景観まちづくりの第一歩になります。

皆さんも景観まちづくりに取り組みましょう。



みんなで取り組む防災・減災

防災知恵袋

9



避難について

こんにちは、しろちゃんです。災害時に、市が「避難勧告」や「避難指示」などを発令する場合があります。自らの身を守るためには、これらの意味や違いを事前に理解しておくことが重要です。

◆避難行動とは

災害から命を守るための行動です。避難場所への避難だけでなく、家屋内にとどまって安全を確保することも避難行動の一つです。

●立ち退き避難

避難場所や高い建物などの安全な場所へ移動する避難行動

●屋内安全確保

建物内の安全な場所で退避する安全確保行動

◆避難情報の流れ

①避難準備情報

避難行動に支援が必要な方や、時間を要する方は避難行動を開始してください。それ以外の方は、家族などへの連絡、非常持出品

の用意など避難の準備を開始してください。

②避難勧告

安全のため、早めの避難行動を勧めるものです。

③避難指示

被害の危険がせまっています。速やかに避難行動をとってください。津波災害は、一刻も早い避難が必要なため、基本的には「避難指示」のみを発令します。

◆災害発生のおそれがあるときは

気象庁が発表する気象情報や、市が発令する避難勧告などの情報の把握に努めましょう。

◆避難勧告等の伝達手段

防災行政無線、安心・安全ほつとメール、広報車などでお知らせします。

※避難所に避難する場合は、非常持出品を持って避難しましょう。

▼防災対策課 ☎23局3548



募集

WANTED

田原市臨時職員 (渥美郷土資料館企画展監視員)

▼募集人員 7名程度 ▼対象 健康な方 ▼採用期間 平成27年2月1日(日)～3月15日(日) ▼勤務場所 渥美郷土資料館 ▼勤務内容 展示室監視ほか ▼勤務形態 午前9時～午後1時と午後1時～5時(交替勤務) / 月曜日を除く
▼賃金 時給830円 ▼選考方法 応募者多数の場合は、書類選考後、面接(期日など詳細は後日通知)
▼申し込み 平成27年1月10日(土)までに田原市博物館にある履歴書に必要事項を記入のうえ直接提出(郵送不可)

▼田原市博物館
☎22局1720 FAX22局2028

田原市ホームページへの 有料バナー広告

田原市の公式ホームページに掲載する有料バナー広告を募集しています。
詳しくは、市ホームページ「<http://www.city.tahara.aichi.jp/city/ad/>」をご覧ください。

▼広報秘書課

☎22局0138 FAX23局1691
http://www.city.tahara.aichi.jp/city/ad/

生活

胃・大腸・乳・子宮頸がん検診の受診は1月末まで

がんは早期発見、早期治療が大切です。今、元気なあなただからこそ、がん検診を受けましょう。
▼期間 平成27年1月31日(土)まで
▼場所 市内指定医療機関もしくは検診車(子宮頸がん検診は、豊

橋市内指定医療機関も可能) ▼持ち物 受診券(5月中旬に郵送済)
▼費用 無料 ▼その他 受診券を紛失された場合は再発行しますのをご連絡ください。

▼健康課(市役所内) ☎23局3515
▼健康課(あつみライフランド内) ☎33局0386

下水道を正しく使いまじょう

下水道は、私たちの家庭などから出る生活排水をきれいにして川や海に戻し、快適な生活環境をつくるとともに、海や川を汚染から守るための施設です。

▼下水道を使う区域でまだ接続していない方は、接続にご協力ください。
下水道施設へ異物が流入すると、故障の原因になり、適切な汚水処理ができなくなります。

▼水洗便器に、トイレペーパー以外のものを流さないでください。

▼下水道課
☎23局3525 FAX22局3184

青少年の非行・被害防止に 取り組む冬の運動

イベントの多い年末年始を迎える

にあたり、解放感から青少年が有害な環境に接する機会が多くなるのが予想されます。



青少年の非行・被害を防止するため、地域、家庭、学校が一体となり、青少年の健全な育成に取り組みしましょう。

▼スローガン 「非行の芽 はやめ につもう みな我が子」 ▼期間 12月20日(土)～平成27年1月10日(土)
▼実施事項 パトロール、啓発活動、インターネット適切利用の推進ほか
▼文化生涯学習課
☎23局3635 FAX22局3811

渥美資源化センターを 臨時休業します

渥美資源化センターでは、ごみ計量機取替工事のため、次の日程で臨時休業します。
ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

臨時休業日

平成27年1月20日(火)～22日(木)

清掃管理課

☎23局3538 FAX23局0180
▼渥美資源化センター ☎32局3322

医療費の助成制度

田原市では、さまざまな医療費の自己負担分を助成する制度を設けています。

まだ申請されていない方はお問い合わせください。

◆後期高齢者福祉医療費助成

後期高齢者医療制度の被保険者で次のいずれかに該当する方に、後期高齢者福祉医療費受給者証を交付しています。

◎対象

【障害者】次のいずれかに該当する方
 ①身体障害者手帳1～3級、じん臓機能障害4級、進行性筋萎縮症4～6級の方
 ②療育手帳A・B判定の方
 ③精神障害者保健福祉手帳1・2級
 ④自閉症状態群（診断書が必要）

【ひとり暮らし】次のすべてに該当する方
 ①単身で生活を営んでおり、同一敷地内に親族が住んでいない方
 ②市町村民税が非課税の方
 ③親族から金銭的援助を受けていない方
 ④親族の税の扶養親族に入っていない方

【ねたきり・認知症】介護保険の要介護4または5の認定を受けている方

◆母子家庭等医療費助成

次のいずれかに該当する方で、父母の前年の所得が表の所得制限額以下の方に、母子家庭等医療費受給者証を交付しています。

◎対象

①母子家庭（父に重度の障害がある家庭を含む）の母および児童②父子家庭（母に重度の障害がある家庭を含む）の父および児童③父母のいない児童

※いずれも児童が18歳に達した日の属する年度の末日まで

◆母子家庭等医療費助成の所得制限額

扶養親族数	所得制限額
0人	192万円
1人	230万円
2人	268万円
3人	306万円
4人目以降の加算額	38万円

◆精神障害者医療費助成

◎対象

【A】精神障害者保健福祉手帳1・2級をお持ちでない方で、次のいずれかに該当する方

①精神障害と診断され、自立支援医療（精神通院）を受けている方

②精神障害と診断され、入院している方（措置入院の方は除く）

【B】精神障害者保健福祉手帳1・2級をお持ちの方

◎助成額

A)の方

医療保険における精神障害治療に必要な通院医療費の自己負担額全額と入院医療費の自己負担額の半額

B)の方

医療保険における自己負担額の全額

◎田原市では、平成26年4月から、精神障害者保健福祉手帳1・2級所持者の医療保険における全疾患の自己負担額全額を助成しています。

▼保険年金課

☎23局3514 FAX23局0180

小児救急電話相談#8000

夜間に子どもの急病で困ったとき、看護師（難しい事例は小児科医）による電話相談が受けられます。



▼相談日：毎日 ▼受付時間：午後7時～11時

#8000（短縮番号） または
☎(052)962局9900

▼健康課

☎23局3515 FAX23局3810

時間外電話相談

育児もしもしキヤッチ

市役所閉庁後、育児相談、母子の健康に関する相談など、専門相談員による電話相談が受けられます。

▼相談日：火～土曜日（祝日、年末年始を除く） ▼受付時間：午後5時～9時



育児もしもしキヤッチ

☎(0562)43局0555
 【あいち小児保健医療総合センター】

▼健康課

☎23局3515 FAX23局3810

渥美郡三町の時代



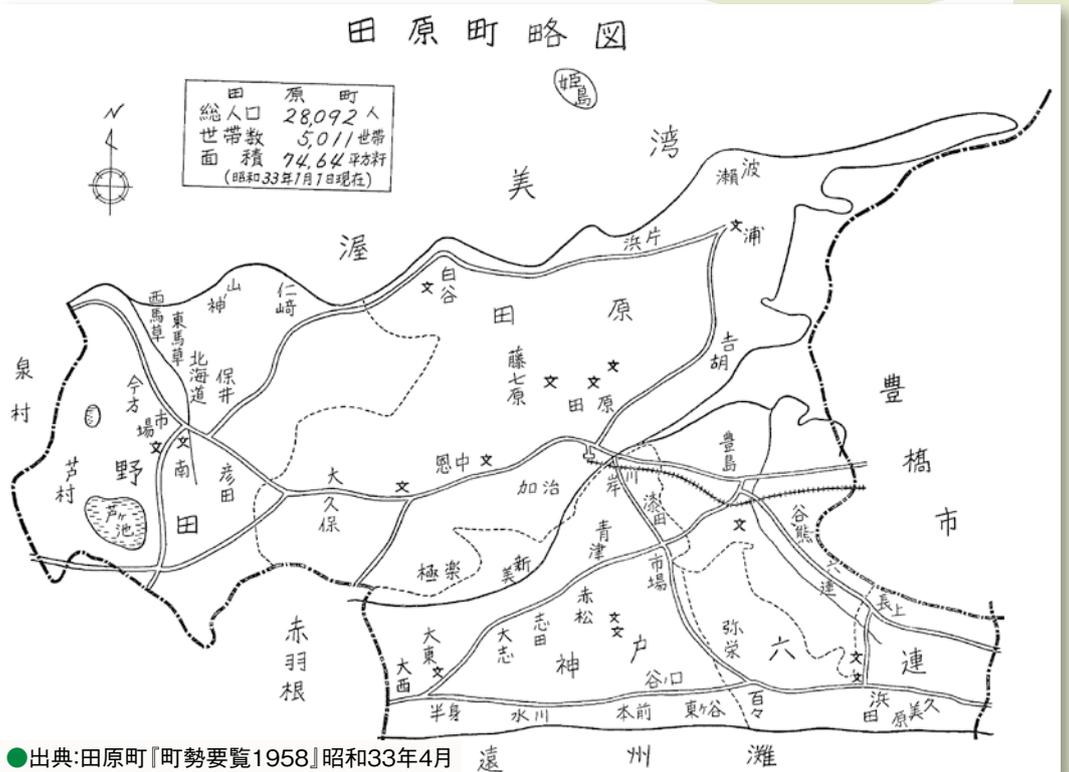
郷土史編さん室 ☎36局6503

昭和30年ごろの田原町と合併時のまちづくりの基本方針

昭和30年（1955）1月1日、田原町・神戸村・野田村の3町村が合併して、新田原町が誕生。同年4月1日には杉山村の六連地区が田原町に編入合併され、新田原町の面積は78・35km²、人口2万8101人、戸数4972戸（いずれも「合併申請書」の数値）となりました。同年3月に策定された「田原町建設計画」では、新町建設の基本方針を次のように定めています。（原文を基に一部表記を改めました。）

「田原町は気候温暖な自治体であり、東京、大阪、神戸、名古屋等大都市に対する輸送園芸および農産製品の供給源として活発に行われているので、これをさらに強化確立するために、これらを基盤としての総合

商工業の振興を期し、内外漁業の生産を高め、農漁一体の興隆方針を樹立する。又、本邦屈指の考古学的資料、渡辺筆山を中心とする史跡、幾多の景勝地等多面にわたる資源を更にかし観光の開発を行うものとする」



●出典：田原町『町勢要覧1958』昭和33年4月

田原町	人口	28,092人
世帯	数	5,011世帯
面積	74.64km ²	（昭和33年7月1日現在）

開発を行うため、全面的に土地改良を促進すると共に、特色ある農業形態を活かし多角的農業経営をはかりその発展を図る。この方針と相まって

現在着工中の隧道（白谷トンネル）完成に伴い、将来港湾を開発し産業製品の輸送を計ると共に港を利用する近代産業の発展と、工場誘致をはかり

今月の「表紙」

今年もあと2週間、時間だけがせわなしく過ぎていきます。少し気分転換をしようと、普段は横を通り過ぎる公園の中へ入りました。すると、冬の寒空に向かって咲く鮮やかな色の花が。力強くも気品あるその姿にすっかり見入ってしまいました。来年も身近な場所での「癒し」を見つけたいものです。（H）

【表紙の写真】椿の花（つばき公園）

（執筆委員・安井俊則）